

ステップアップ 親子学びプラン

～生まれた命が次の命を育むまでに～

第6期恵那市家庭教育支援計画

令和8年度～令和11年度

概要版



読書推進(中央図書館岩村分館)



乳幼児期の家庭教育学級



中学生の職場体験



放課後子ども教室



放課後児童クラブ



地域学校協働活動(こども歌舞伎)

「笑顔」と「ことば」を大切にした家庭づくりを願って

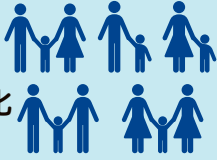
やさしく前向きなことばをかけることで、こどもは安心し、自分に自信を持てるようになります。そして、こどもに寄り添う親自身の心も、やさしく前向きなものになります。たとえば、「ありがとう」「いっしょにやってみよう」といったことばを、笑顔とともに伝えるだけでも、こどもの心はあたたまります。

こうした関わりは、特別な準備や難しいことは必要なく、誰もが日常の中で取り組めることです。こどもの発達段階や性格によっては、真剣な表情で厳しいことばをかける場面もありますが、親子や家庭の雰囲気をあたたかくする大切な鍵である「笑顔」と「ことば」を大切にした家庭環境づくりを支援します。

令和8年3月 恵那市

家庭を取り巻く現状

家族の形が
ますます多様化



情報過多による不安や、
LINEグループなど
SNSでの人間関係の悩み



生活や時間、気持ち、
経済面での相違に
より家庭ごとに格差



育児と仕事を両立
しながら、家族が
協力して子育て



友人づくりや情報交換を
重視しながら、工夫して
子育てと向き合う姿



AI技術の進展により、
家庭教育のあり方
にも変化



計画の基本的な視点

家庭は子育ての基盤として、こどもにとって生きる基礎を培う場所です。保護者はこどもの健やかな成長を見守り支えるため、自らも成長し続けることが求められます。これが「親育ち」であり、家庭教育において最も大切な視点です。

こどもの発達に応じて大切にすること・支援する側が大切にすることを次頁に表としてまとめました。7つのステージに分けているものの、子育てのスタイルや状況は家庭ごとに多様であり、こどもの成長も多様です。そのため、親の姿や家庭のあり方は特定の枠にとらわれず、それぞれの家庭が無理なく子育てに取り組めるよう支援を進めます。親自身が自分を大切にできることが、こどもへの優しさにつながるとの認識を持ち、心に寄り添う支援を行います。

社会全体で連携し 学びをとおした親の育ちを支える

青少年育成
市民会議・町民会議



市民

NPO・事業者等



読み聞かせサークル・
子育てサークル等

地域学校協働本部等

PTA・育友会・
こども園・保育園
保護者連合会



学校
幼・保・こども園

総合的な
サポートネットワーク



行政

地域クラブ
(部活動地域展開)・
総合型地域スポーツクラブ・
スポーツ少年団

子ども会指導者
連絡協議会

親育ち・子育て支援団体等

こどもの発達に応じて大切にすること・支援する側が大切にすること

基本的な視点

▶視点1

岐阜県家庭教育支援
条例

- ・基本的な生活習慣
- ・自律心
- ・自制心
- ・善悪の判断
- ・あいさつ及び礼儀
- ・思いやり
- ・命の大切さ
- ・家族の大切さ
- ・社会のルール

▶視点2

発達段階別の切れ目の
ない支援

▶視点3

行政、地域、子育て関係
機関の連携支援

大切にすること (7つのステージ)

支援する側が 大切にすること

①【胎児期】

こどもを迎える準備

- ・愛情を持って楽しみに待つ
- ・家庭で仲良く協力するため情報を増やす



- (1) 親になる喜びを伝える
- (2) 親になる準備(心構え)内容を伝える

②【乳幼児期】

安心できる親子関係の構築

- ・乳幼児の心と体の発達の間接性を考え、「笑顔」や「あたたかいことば」を日常に取り入れる
- ・親自身が自分を大切にする



- (1) 参加者に居心地のよさを伝える
- (2) 「自分の子育てをちょっとよくしたい」という思いを受け止める
- (3) 親子で参加して「よかった」「楽しかった」という思いを味わってもらう
- (4) 発達に不安を持つ家庭へ早期に対応する

③【在園期】

自発性の芽生え

- ・笑顔でほめることの大切さと自分でする習慣を身に付けることの大切さを深く学ぶ
- ・いっぱい親子で遊び共に成長する



- (1) 参加者を不安にさせない
- (2) 参加者を孤立させない
- (3) 特に6歳児には、小学校での生活を意識した学びや生活の基礎づくりを支援する

④【小学校期】

自律心や他者意識の芽生え

- ・学校と歩調を合わせ、自分を律する心を身に付けさせる
- ・こどもの話に耳を傾け、食事や家庭学習をともにするなど、ふれあいを持つ
- ・「こどもは失敗しながら成長していくもの」という捉えを持つ



- (1) 学校や地域でのこどもの様子(現状)を踏まえ学習テーマを設定する
- (2) 心と体の発達過程について学習内容を工夫する
- (3) 家庭では対応しきれない問題について課題を提案し、学びにつなげる
- (4) 地域全体でこどもたちの学びや成長を支える仕組みを作り実践する

⑤【中学校期】

自分らしさへの気づき

- ・学校と歩調を合わせ、人間としてのこどものよさをみつけ、ほめ、認める
- ・進路(将来)について一緒に考える

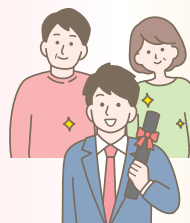


- (1) 家庭では対応しきれない問題について課題を提案し、学びにつなげる
- (2) 中学生だからこそ大切にしたい親子関係を深める学習内容を設定する
- (3) 地域全体でこどもたちの学びや成長を支える仕組みを作り実践する

⑥【少年期】(16歳～18歳)

自分の個性に誇りを感じる

- ・こどものよさを認め、励まし、親自身の生き方を語る
- ・こどもに願う生き方を伝え、離れて見守りながら、愛情を伝え続ける



- (1) 将来親になる中高生の子育てに対する学習内容を設定する
- (2) こどもと家族の人権を守るための学習内容を設定する

⑦【青年期】(19歳～)

社会と自分とのつながりを自覚すること

- ・父として、母として、社会人としての在り方をこどもに語る
- ・人としてのよさを認め、信じて、励まし続けることの大切さを学ぶ



- (1) 若者の自立支援を応援する
- (2) 若者の移住定住を働きかける

具体的な事業について

1 妊産婦・乳幼児・在園期・小学校期への切れ目のない支援

たまご学級、乳幼児期の家庭教育学級、地域学校協働活動 など

2 こどもの健全育成対策

ブックスタート、こどもフェスタ、青少年育成市民会議 など

3 教育・学習環境の充実

ICT教育アクションプラン、「佐藤一斎学びのひろば」の活用 など

4 次代の親の育成

乳幼児とのふれあい体験、職場体験 など



施設紹介 情報が得られる、学習機会に参加できる、交流ができる施設



恵那文化センター



各コミュニティセンター



こども元気プラザ



中央図書館



中央図書館岩村分館



佐藤一斎学びのひろば

家庭教育情報の紹介



特設サイト

「みんなで家庭教育」

岐阜県が制作したウェブサイト。
家庭教育に関する動画や情報が
豊富に掲載されています。



／こちらもおススメ／

家庭教育を实践する日(ニュースレター)

岐阜県では、毎月「家庭教育を实践する日」に合わせ、家族の過ごし方の取組例を掲載したニュースレターを発行しています。



家庭教育支援計画とは

家庭は、生涯学習の原点として、すべての教育の出発点であり、新たな時代を主体的に生き抜く能力、意欲、個性を培うところでもあります。そのためにも子育てをしている親や、これから親になる人が、家庭教育の役割と重要性を認識し、実践的な教育力を高めていくことが必要です。

恵那市家庭教育支援計画は、家庭の教育力の強化と向上を目指し、行政や地域、学校などが連携して家庭や親を支えていくための計画で、家庭の教育力の向上に的を絞った支援策に取り組んでいきます。

胎児期から青年期までを見通した家庭教育支援の全体像を示し、こどもたちの幸せを願いながら、心豊かに生きる力を育み、恵那市を支え、次世代を担う人材の育成を目指すことを目的としています。

家庭教育支援計画の
本編はこちらから
ご覧いただけます。



発行／恵那市教育委員会事務局社会教育課
編集／恵那市社会教育委員会
〒509-7292 恵那市長島町新家一丁目1番地1
TEL 0573-26-6853 FAX 0573-26-2189

